

1. 東京一極集中とは
2. 市場メカニズムと正のフィードバック効果
3. 政策対応による意図せざる効果
4. 一極集中と経済成長①
5. 一極集中と経済成長②

1. 東京一極集中とは

- “東京”
首都圏－東京圏－東京都－都区部
- “東京”対○○
東京以外の地域、都市圏、大都市圏
- 集中した状態、人口の流入超

2. 市場メカニズムと正のフィードバック効果

- 初期条件：政治的首都
- 集積の経済（特化の経済、多様性の経済）
企業－人材プール、対面接触→イノベーション、生産性向上
個人－消費機会、就職先
企業の立地、人口の流入→好循環
- 結果としての地価上昇

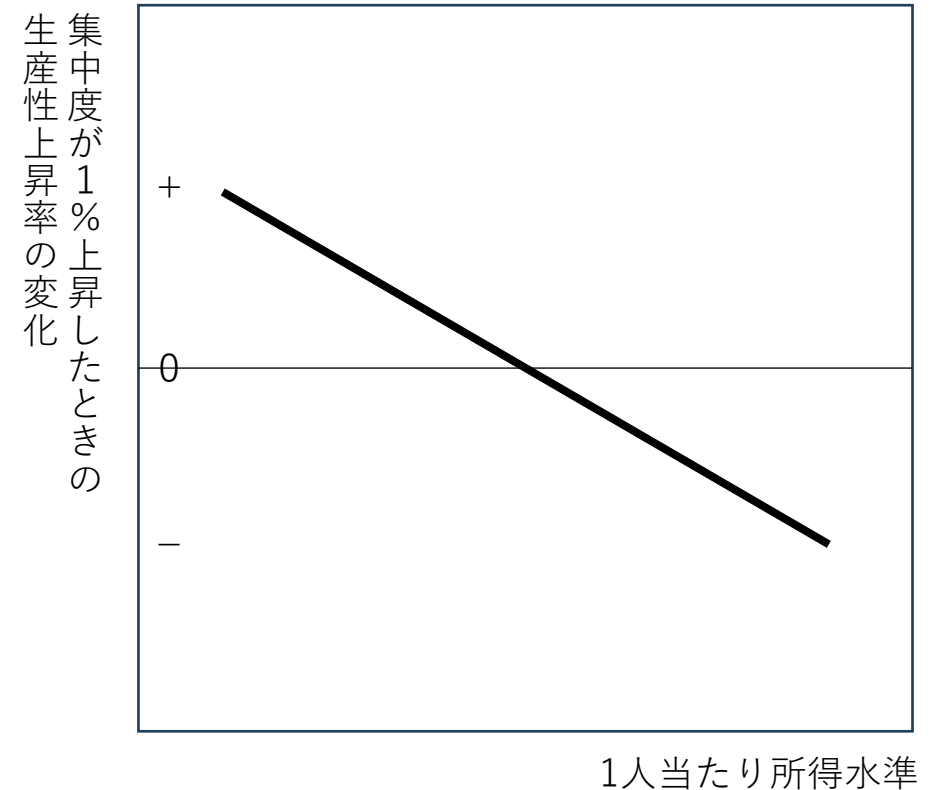
3. 政策対応による意図せざる効果

- 集積の不経済への対応
公害対策、混雑・通勤費用の軽減、防災力の強化
東京圏内での機能分担（都区部、業務核都市、郊外）
圏内交通網の整備、工場の移転、都区部の再開発、都心居住の推進
→生活環境を改善、集積の阻害要因を緩和
- 全国レベルでの政策の効果
都市間交通網の整備→ストローク効果
大学進学率の上昇→大都市圏への人口流入

4. 一極集中と経済成長①

- 東京は日本の成長エンジンか？
(もしそうなら、)
東京：イノベーションの活発化、
生産性の向上
地方：東京からのトリクルダウン
- ウィリアムソンの仮説
低所得国：集積の経済が大きい
高所得国：集積の不経済が大きい
仮説を支持する研究が比較的多い

ウィリアムソンの仮説



5. 一極集中と経済成長②

- 東京圏の経済的パフォーマンス（国内他地域との対比）
労働生産性の上昇率：2000年代半ば以降、相対的に低い状態
労働生産性（水準）への寄与：業種構成の違い＋卸小売業
- 東京圏の情報通信業
国際比較：付加価値の集中度が就業者の集中度に見合わず
国内比較：就業者数は著しく多いが、労働生産性は他の上位都市並み
- 一極集中の緩和と経済成長はトレードオフ関係とはいえず